

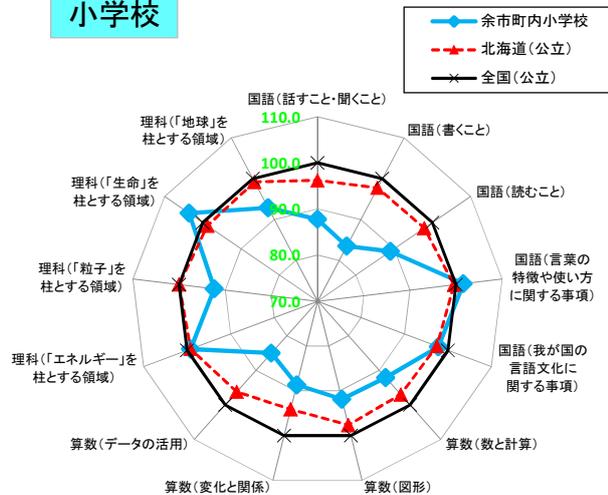
■余市町内の状況及び学力向上策（小学校数:4校、児童数:105人）（中学校数:3校、生徒数:128人）

【教科全体の状況】

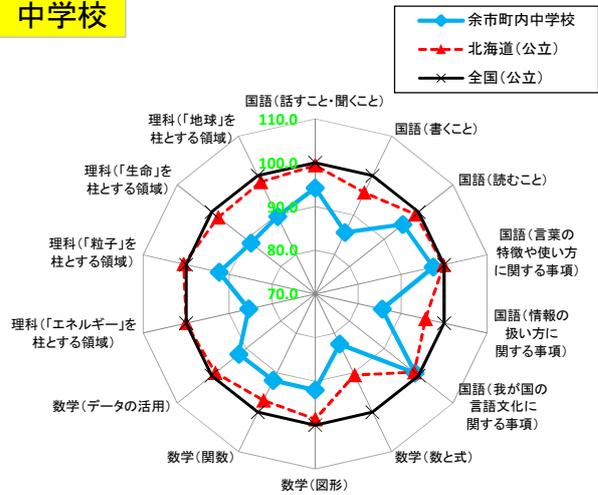
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	61	67
算数・数学	57	45
理科	62	44

小学校

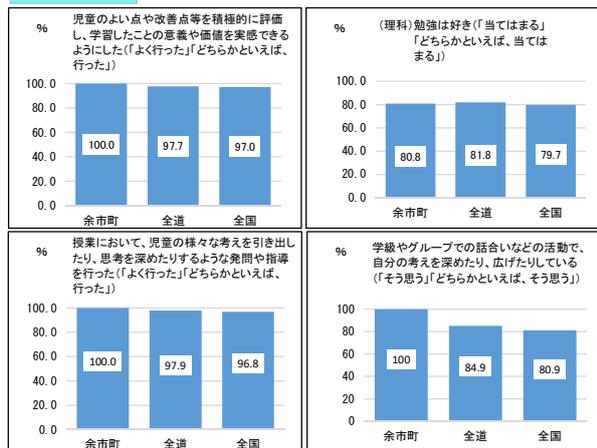


中学校

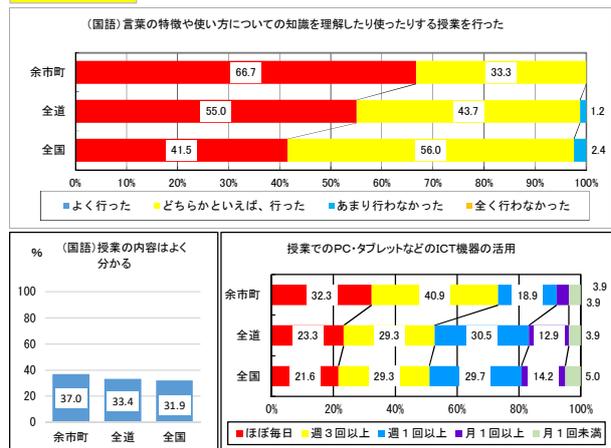


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

児童のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしたことにより、理科の勉強が好きになり、理科の「生命」を柱とする領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。

授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行ったことにより、児童は学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになったと考えられる。

中学校

国語の指導において、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行ったことにより、生徒は国語の勉強がよく分かるようになり、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」において全国に近付いたと考えられる。

PC・タブレットなどのICT機器を生徒がよく活用する授業を行ったことにより、数学では、「データの活用」の領域において他の領域に比べて全国に近付いたと考えられる。

【余市町の学力向上策】

- ◎ 地域全体の学力向上に向けた町内全小・中学校の参加による授業改善推進チーム活用事業定例報告会の実施
- ◎ ICT機器を活用した児童生徒の主体的な学習活動や、学習意欲、思考力、判断力、課題解決力を育成する教育の展開
- ◎ 外国人指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成